



世田谷稲門会会報

平成28(2016)年12月18日

第 63 号

発行人 世田谷稲門会
編集 横田吉明
小寺兼大 並口浩一
島子邦信 小寺兼大
内林秀昭 兼大若鷲

事務局 神奈川県川崎市中原区新丸子東
3-1100-12 M2209
TEL/FAX 044-433-9202
林 肇 (はやし かおる)

平成29年新春懇親会 女性狂言師 三宅藤九郎(十世)を迎えて

1月29日(日)午後5時から
青山・アイビーホールにて

平成29年の新春懇親会は表参道・青山のアイビーホールにて開催予定です。

第一部は狂言師三宅藤九郎さんをお迎えします。

第二部は美味しい料理と美酒で楽しい仲間との歓談タイムです。楽しい抽選会も予定しています。お楽しみに。

会費は8000円です。

皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご参集ください。

会場は東京メトロ表参道駅B3出口から徒歩5分。

講師の紹介



世田谷稲門会平成29年新春懇親会に初めて「女性狂言師 十世三宅藤九郎さん」を特別なご好意によりお迎えすることになりました。藤九郎さんは狂言和泉流十九世宗家・故和泉元秀の次女で、2歳半で初舞台。姉は女性で初の狂言



師・和泉淳子さん、弟は和泉元彌さん。人間国宝故九世三宅藤九郎を祖父にもち、12歳で大曲を抜く。和泉流二十世宗家・和泉元彌と共に全国で一般公演や文化庁委嘱事業で幼稚園から大学までの伝統芸術鑑賞教室なども行う。海外公演も多く、12カ国30都市に及ぶ。海外公演や国際シンポジウムでは英語での狂言解説やワークショップを行う。最近では内閣府から欧米への派遣依頼も多い。また、少し前だが、2005年の国際博覧会での「世界四大喜劇と伝統狂言」公演は新作狂言として評価が高い。

懇親会では①講演 ②ワークショップ(全員参加体験) ③実演の順序となる。ぜひ日本の伝統文化の真髄を鑑賞し、欲しいと思います。

(副会長・鈴木 宏治)

稲門祭に模擬店を出店 “今年は生ビールとやきとり”

平成28年10月23日(日)朝8時、まだ人影もまばらな大隈庭園に担当者が集合し世田谷稲門会恒例の模擬店が動き始めた。今年初めての生ビール販売のため20kgのビア樽を15個も運ばねばならず、青年部会の若い会員達が応援に駆けつけてくれた。午前10時前、諸準備作業完了、店員役になる本部役員はじめ販売窓口担当の女性会員そして担当業者さんが勢揃いし営業を開始した。

るほどだ。この生ビール、安くて美味しいね!嬉しい言葉を耳にしながら、つり銭を間違わぬよう慣れぬ手つきで大奮闘、庭園舞台でのジャズバンドやフラダンスの催しを楽しんでいる余裕など全くなし。日も傾いてきた午後4時前に無事終了、女性会員の活躍もあり目標をほぼ達成し成功裏に手一本で締めることが出来た。

ご協力いただいた皆様大変有難うございました。
(旭 正勝/記)



大隈庭園にて



▲▼模擬店

心配した天気も担当者の心意気を感じてくれ薄日も差す絶好の稲門会日和となった。ホームカミングデー式典が終了した11時半ごろから大隈庭園は大勢の校友で埋め尽くされ、店の前には長い列が出来



校友でいっぱい!



フラダンス



森田日記さんのショーを堪能 納涼会、ハイアットトリージェンシー東京にて

平成28年8月28日(日)正午から、新宿の「ハイアットトリージェンシー東京」の27階エクゼレンスルームにて、世田谷稲門会納涼会が開催されました。納涼会をランチタイムに開催するのは、初の試みとなりました。

台風の影響による当日の天候不順が心配されましたが、



横田会長



司会の河津さんと山本さん



幸い雨も降らず、それまでの猛暑とは打って変わった涼ぎやすい日となりました。参加者はお来賓・ご家族・ご友人を含めて総勢116名でした。開会前の11時よりレディースクラブ・地域サポート活動部会・玉川会共催のバザーが開催され、有志の方々から提供された品物が並べられ、開会前からの賑わいとなりました。来賓として、世田谷三田会の三宅茂樹会長、大田稲門会

の金森捷三郎会長、杉並稲門会の久保田貞雄会長、笠原美子様、狛江稲門会の山根貞夫副会長にご出席いただきました。司会は、本年の担当プロックとなった玉川会世話人の河津延樹さんと山本厚子さんの同期コンビが担当しました。冒頭に横田会長よりご挨拶をいただき、続いて司会者より5名の来賓の方々の紹介があり、来賓を代表して大田稲門会の金森会長にご挨拶をいただきました。乾杯のご発声を世田谷三田会の三宅会長にお願いし、その後食事と歓談に入りました。食事は中国宮廷料理の伝統を受け継ぐ北京・上海料理の名店「翡翠宮」の料理が出され、ビール、紹興酒、ワイン等の飲み物を楽しみながらの歓談が進みました。

第二部は、シャンソン歌手の森田日記さんのショータイムです。森田さんはテレビドラマ「プレイガールQ」で芸



森田日記さん

能界デビューし、現在ではシャンソンをメインにライブハウスを中心に第一線で活躍しておられます。当日はピアノの生伴奏で10曲のプログラムと1曲のアンコールを熱唱。トークを交えた約1時間のショーでしたが、さすがは一流プロ歌手の歌唱で、皆さん最後まで熱心に聴き入っておられ、大変好評でした。宴たけなわの中、地域サポート活動部会の國澤俊一常任幹事よりバザー売り上げ実績の報告があり、続いて玉川会代表世話人の真木郁夫さんより謝辞を含めた閉会挨拶がありました。



あでやかに衣装替え

最後に、森田日記さんも入って全員で「早稲田の栄光」を声高らかに斉唱し、盛会裏に終了となりました。

(太田 隆/記)



バザー会場



ハイアットトリージェンシー東京

＝母校の今＝(第32回)

「早稲田大学記念会堂(31号館)の建て替え工事始まる！」

早稲田大学記念会堂は学校創立 75 周年を記念して 1957 年に建設され、入学式や卒業式をはじめ、各種室内競技やイベント会場などとして長い間広く親しまれてきたが、この度、その 58 年間にわたる役割を終え、2019 年 3 月の完成を目指し建て替え工事が始まっている(写真 2,3,4)。

新記念会堂(仮称)はスポーツミュージアムや学習スペースなどを併設した「多機能型スポーツアリーナ」として生まれ変わることになる。新記念会堂の全体像(写真 1 の完成予想図)は、地下 2 階部分にアリーナが設置され、地下 1 階には一般学生も利用できる屋内多目的運動場や可動式観客席が設置され、さらに、屋上にあたる地上部には緑豊かな丘



写真 2



写真 3



写真 4



新記念会堂(仮称) 進行中 2019年春 併

写真 1. 完成予想図

状の広場が設けられるなど、先進的な施設が誕生するという。

この新記念会堂の建設工事は、清水建設が中心となって進められており、新名称は、本年 7 月末締切で一般募集した結果 739 件の応募があり、学内選考を経て近々正式に決定、発表される。

東京オリンピック開催前年春の完成が待たれる。

(大内 秀行/記)

世田谷ぶらさんぽ

第4回

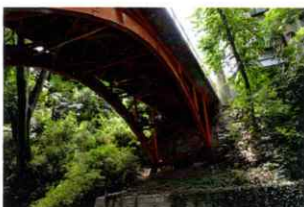
等々力溪谷

野毛大塚古墳



都内 23 区では唯一となる溪谷をご紹介します。東急大井町線の等々力駅を降りて約 2 分も歩くと、ゴルフ橋のたもとに等々力溪谷の入り口看板が見える。溪谷にかかる橋の脇の小道を下るとそこは別世界だ。都内とは思えぬ天然溪谷が出現する。頭上は緑に覆われており空が見えないほどである。谷沢川に沿って約 1km ほどの遊歩道が設けられており、ゆったりと散歩するには好適だ。2～3 月は梅、4 月は桜、5 月からは新緑、秋は紅葉と四季折々の風景を楽しめる。谷沢川が多摩川に合流する手前で武蔵野台地を侵食してできた溪谷だ。溪谷内には都指定史跡の等々力溪谷三号横穴古墳があり見物が可能だ。横穴古墳の先をしばらく溪谷沿いに進むと茶店がありお汁粉など食べて休むもよい。茶店脇の道を登ると等々力不動尊がある。また近くには野毛大塚古墳や御岳山古墳などもある。

【アクセス】東急大井町線、「等々力」駅下車、徒歩 2 分。渋谷・成城学園から路線バスも出ている。



ゴルフ橋



等々力溪谷遊歩道



茶店脇の橋



等々力不動尊

ブロック会だより

『ブロック代表世話人会議』

11月19日(土)に開催され、各ブロックの代表世話人(代理含め)他、11名が参加、各ブロックの活動・問題点等を話し合いました。問題点としては、参加者が2割から多くて5割、顔ぶれも限定されてきているという点が大きく、ブロック合同の活動も提案されました。なお、席上で各ブロックに活動支援金1万円が手渡されました。(林 馨/記)

西北

○西北会・けやき会合同懇親ゴルフコンペ実施

平成28年10月25日(火)、武蔵松山CCにてゴルフコンペを実施。今回は初めての試みで西北会とけやき会の合同による懇親ゴルフ会となった。当日は晴天無風やや寒いがまずまずのコンディション。4組14名で新ペリア方式にて熱戦を展開。クラブの名前のおりコース内は多くの松林でセパレートされ、池やバンカーも多く、また難しいグリーンに散々悩まされた。結果、優勝は青木誠司さん、準優勝は宮坂尚利さん、バスクロは榎並俊一さんがそれぞれ獲得。パーティーでは受賞者全員のスピーチに湧き上がり和気藹々のうちに散会とした。

○今後の予定

1. 平成29年1月第1週 初詣&新年会 場所：北澤八幡神社他
2. 平成29年3月18日(土)「第39回西北会例会」 (桃井 清治/記)



キャロット

キャロット会世話人会

平成28年9月18日(日)、午後2時からキャロットタワー26階の軽食コーナーにてキャロット会の世話人会を開催しました。議題は年末に予定しているキャロット会忘年会の日時、場所の相談でした。

忘年会は三軒茶屋の銀座アスターにて12月10日(土)の正午から2時間の予定となりました。なお、今回の世話会をもって守谷之男氏のご高齢による体調不良のため世話人をご卒業されることになりました。お疲れ様でした。新たに青木明彦氏に世話人としてご活躍いただくことになりました。よろしく願いいたします。(榎並 俊一/記)



世話人一同

さくら

さくら会恒例の秋の昼食懇親会は10月16日(日)午前11時30分~午後2時まで三軒茶屋の銀座アスターにて23名の参加により開催されました。

当日は矢後勝洋世話人の司会により、横田吉明会長よりの挨拶および鈴木宏治ブロック統括の活動状況の説明の後に河内文雄氏の挨拶と乾杯の音頭により、中華料理を楽しみながらの懇親会となりました。スピーチタイムでは新会員の植松勉氏の自己紹介と希望者による楽しい話が披露されました。毎回お楽しみのビンゴゲームでは和気藹々の雰囲気でも盛り上がり、最後は小口浩一氏による閉会の挨拶の後に、校歌「都の西北」の合唱と記念写真の撮影をして解散となりました。(江原 利次/記)



きぬた

きぬた会に新しく入会された方と世話人の懇親ランチ会を9月24日(土)に成城学園駅前のイタリアンレストラン「TO THE HERBS」で開催しました。今年入会されました4名の方と世話人5名の自己紹介から始めましたが、年代が近く同窓ということもあり、すぐに打ち解けた楽しい懇親会になりました。総勢9名と少人数の会でしたので、一つテーブルを挟み在学中の思い出や、会社生活での相互の接点やら、また趣味の話やらで大いに盛り上がりました。

世田谷稲門会の総会・納涼会・稲門祭模擬店・新春懇親会、またブロック会と部会の活動内容を説明し、特に各部会は趣味での繋がりができますので積極的に参加するようお勧めしました。もしレストランに時間の制限がないならば美味しいイタリアンとワインで延々と懇親会は続いた事でしょう。

参加者：石綿宏、伊藤龍一、山口稔、笠富士人、高橋毅、河村卓郎、佐伯基憲、田中正文、國澤俊一（敬称略）

（國澤 俊一 / 記）



玉川

平成28年7月15日(金)、日本橋の貨幣博物館見学会を行いました。会員9名、夫人2名の11名が参加しました。我国の貨幣と貨幣に関連する色々な歴史的、文化的資料を公開している施設で、展示品には貴重なものが多く、大変有意義な見学会でした。

7月23日(土)、奥沢の木畑亭で新入会員歓迎会を行いました。昨年4月以降入会した7名中6名と、代表世話人の真木さん以下5名の世話人が出席し、食事をしながら楽しく打ち解けて話をする事ができました。玉川会として初の試みでしたが、毎年続けて行きたいと思います。

（太田 隆 / 記）

10月11日(火)、秋のゴルフ会を開催しました。参加者は12名でした。コースは千葉県のデイスターゴルフクラブで、6時半に等々力駅からバスで出発しました。まだまだ鮮やかな緑の中、成績はともかく気持ちよく一日を過ごし、帰路はバスの中で表彰式と反省会を行いました。

（林 馨 / 記）



千歳

平成28年第2回目の企画として、国立天文台（昭和63年東京天文台から改称）見学会と懇親会を11月12日(土)に開催しました。

午前10時に京王線・調布駅に横田会長にもご参加いただき15名が集合。路線バスにて国立天文台へ。

国立天文台は世界最先端の観測施設を擁する日本の天文学のナショナルセンターです。その本部となる三鷹キャンパスには天文台歴史館（大赤道儀室）など価値ある建物が多く残り、10の建造物が国の登録有形文化財となっています。日本最大の屈折望遠鏡などの説明を受け、広大なキャンパス内を1時間30分ほど散策・見学しました。12時30分から調布駅近くの〈四季彩「調風」〉にて5名を加え、総勢20名で懇親会を開催しました。

鈴木代表世話人の司会により開会。新入会員の紹介、事務連絡として「稲門祭の報告及び記念品購入のお礼」「来年の新春懇親会の案内」が報告されました。豊田恵之助氏の乾杯の発声により懇親会が始まり、和やかに食事を進めながら、全員の近況報告を行い、盛況のうちに校歌斉唱にてお開きとなりました。

（戸田 昇 / 記）



けやき

今年の納涼会は「行動するけやき会」を实践すべく、横浜のみなどみらい地区まで足を延ばしました。7月15日(金)の10時半から昼食をはさんで16時半まで、この地区の観光スポットの候補を3か所用意し、お好みに合わせて自由に見学してもらうという新しい試みです。昼食までは参加者全員が「三菱みなとみらい技術館」で展示や体験を楽しみました。

ここは三菱重工業株が“試せるテクノロジー、学べる最先端”をコンセプトに作った参加体験型のテクノロジーミュージアムで、国産小型ジェット機MRJをはじめ、航空宇宙ゾーンや、海洋ゾーンなどに分かれた展示が充実しています。昼食は33階のスカイラウンジでほとんど貸切りの優雅なひとときを過ごしました。

食事の途中激しいスコールが来て後半の行動を心配しましたが、幸い、その後小降りになり食事後は、横浜美術館（メアリー・カサット展開催）、帆船日本丸、原鉄道模型博物館に分かれて見学する事ができました。

（井上 文 / 記）



特別部会だより

地域サポート活動

本年6月より前代表寺澤宣子様より地域サポート活動部会（略称：地域活動部会）の代表世話人を引き継ぎました國澤俊一です。

発足以降これまで毎月の会議を通して、恵まれない子供達に少しでも手助け出来ないかと方策を練り、実行に移して参っております。総会等全体の集まり、各部会並びに各ブロック会等を通して皆様方からの浄財を集めさせていただき、昨年度は二つの施設に寄付を致しました。

本年度は募金活動の継続とともに、新たな取り組みを検討しております。その一つとして考えておりますのは、放課後の子供達の遊び相手です。親から500円硬貨を渡され、放課後一人で親の帰りを待つ子もいます。このような行き場のない子供達を集めて歌を唄ったり、絵を描いたり、昔の遊びを一緒にすれば、これらの子供達の寂しい時間を埋めることが出来るのではと考えております。

これらを実行に移していくには皆様のご理解と、併せて活動への後押しが必要と考えております。今後ともご支援の程宜しくお願い致します。
(國澤 俊一 / 記)

レディスクラブ

平成28年9月10日(土)、北沢タウンホールで講座「老後の備えとは」を開催しました。講師は不動産鑑定士として幅広く活躍している中村京さんです。定員36人の会場に34人が参加。うち、約半数は男性。ご夫婦で参加の方もおられました。

柏良子代表世話人の開会挨拶から始まり、露木茂応援団長の閉会挨拶で終わるまで、みっちり2時間。中村さんの豊富な経験に基づいた熱のこもった講義が続きました。参加者も資産管理の大切さや、最近の新しいしくみである民事信託の説明などに深く傾きながら聴き入っていました。あっという間に予定の時間が過ぎ、質疑応答の時間が持てなかったほどです。参加者からは、次回もぜひ聴きたいとの声が多数寄せられました。

今回の講座は、中村さんご自身の、「会員の皆様のためにぜひ」という提案から企画したものです。中村さんは、今後、個別にも相談に応じてくださるとのこと。なんとも心強い限りです。
(篠崎 章子 / 記)



青年

世田谷稲門会青年部は平成28年7月22日(金)に飯田橋のスペインバル「イベリコバル・ディッチャ」を貸し切り、例会を行いました。今回は特別ゲストとして世田谷稲門会の副会長である元フジテレビアナウンサーの露木茂氏にご参加いただきスピーチをしていただくという機会があり、アナウンサー時代の話から最近のメディアの動向、当日配信されたばかりのポケモンGOの話まで多岐にわたり、青年部にとっても有意義な時間となりました。

青年部はこここのところ入会者の数も増え、例会への参加人数も回を重ねるごとに増えています。今回は目標であった20名を超える21名の参加をいただきました。スペインの次はイタリア、ということで、次回は三軒茶屋のトラットリア「イルピッツァイオーロ」を貸し切りで例会を開催いたします。今後も気軽に参加できる相互交流の場づくりを提供していきたいと思っておりますので、ご興味がある方はお気軽にお声かけください。

(日下野 由季 / 記)



趣味の部会だより

食べ歩き

平成28年9月23日(金)、第69回食べ歩き部会が、広尾の高級フレンチレストランのレストラン・シェ・モルチェにて、参加43名で開催された。このレストランは明治屋直営であり、緑に囲まれていることや有名なピアノであるベーゼンドルファーがあること、演奏会等もできることで知られている。

上田忠雄氏の乾杯の音頭で会が始まった。食事をしながら、海上清夫、照喜名隆、前原祖彦、有利純太郎、

関根昌一、保倉進、横田吉明、の各氏から非常に興味深いスピーチをいただいた。健康に関する注意喚起のスピーチが多く、参加者は日ごろから健康に留意しなければならないと強く思う内容であった。保倉進氏からは「学徒出陣の会」についての紹介があった。精霊を慰め、戦争は怖いという事を後世に伝えたいとおっしゃられ、現役の学生も何名か参加していると事で驚いた。横田吉明氏から、大先輩のスピーチに感謝と、100歳を目指してほしい、という締めくくりの挨拶があった。



最後に、恒例となりつつある奥田真知子氏の素晴らしいオペラの歌を演奏付きで聴き、その余韻の中で散会となった。今回も非常に落ち着いた雰囲気の中で、楽しい親睦会となった。

第70回は平成28年11月29日(火)に「銀座・懐食みちば」にて開催した。

(大山 毅彦 / 記)

ゴルフ

第88回世田谷稲門会ゴルフコンペは平成28年10月5日(水)に開催予定でしたが、台風18号の接近により荒天が予想されたため、止む無く中止となりました。

第8回早稲田大学校友会ゴルフコンペが11月4日(金)に快晴の久邇カントリークラブにて199名の校友の参加を得て開催されました。世田谷稲門会からも7名の精鋭が2チームで参加しましたが、残念ながら団体戦、個人戦ともに上位進出はなりませんでした。優勝は1985年次稲門会Aチームでした。



参加者：横田吉明、島田實、宮坂尚利、桃井清治、竹入啓子、戸田昇、榎並俊一

第89回世田谷稲門会ゴルフコンペは12月1日(木)に桜ヶ丘カントリークラブにて開催されました。結果の詳細についてはホームページを参照ください。

(榎並 俊一 / 記)

ウォーキング

初秋の9月18日(日)午後1時、越谷駅を7名にて出発し、当日担当の矢後勝洋氏の案内で、財政豊かな越谷市役所及び関連施設を見ながら葛西用水中土手に沿って延々と藤棚の続く遊歩道を眺めながら格式高い久伊豆神社に到着。さらに次の目的地の能楽堂で休憩してから、隣接の花田苑を眺めながらの散策を楽しみました。終着の北越谷駅にて解散となりました。



新宿御苑にて

秋本番の10月15日(土)午後1時、四ツ谷駅に13名が集合し、担当の斉藤治雄氏のガイドで赤坂離宮迎賓館に沿って緑豊かな都心の中の緑園地帯を散策しながら懐かしの新宿御苑に到着。当日は秋晴れの好天に恵まれ苑内はたくさんの人で賑っており、我々もお互いに思い出の庭園や施設を懐かしみながらウォーキングを楽しみました。なお、ウォーキング終了後は希望者による恒例の親睦二次会が行われました。

(江原 利次 / 記)

俳句

毎月第3月曜日の午後1時から桜新町区民集会所で日下野由季先生の指導のもとに句会を開催しています。当日は由季先生から予め出題された季語と季節に相応しい俳句3句を持ち寄って、お互いの句の中から選句をして句会を楽しんでいます。9月の兼題は(野分)、10月は(林檎)に挑戦しながら、豊かな日本の季節を楽しみました。



(江原 利次 / 記)

身の丈に草木のなびく野分かな	利水	(江原利次)	帰省待つ筑いっばいに豆茹でて	雪子	(家井雪子)
秋鯖や妻と娘は小さき猪口	たか二	(荒居隆二)	曇天に輝き光る鬼やんま	上馬の	(暮田忠雄)
中天の暈のかかりし今日の月	兆弥	(冨塚兆弥)	能舞台舞ふ人おらず秋の暮	広	(矢後勝洋)
深夜バス棚の林檎の香り立つ	まもる	(松尾 守)	白萩を生垣にして風と住む	勝	(田中 勝)
漆黒に溶けゆく軌跡ほたるかな	恵那	(榎並俊一)			

釣リ

平成 28 年 6 月 19 日 (日)、川崎「つり幸」よりキス釣りに 5 名参加。不漁であった。

7 月 31 日 (日)、柴田単独試釣りに岡ハゼ釣り。2 時間で 8 ~ 12 cm 66 匹。今年は期待できる京浜運河である。8 月 21 日 (日)、川崎「つり幸」よりライトタックル鯰釣りに 4 名参加。小型多く貧漁。11 日 (木・山の日)、柴田単独釣行、狩野川上流地藏堂川で 38 cm 750 g 虹鱒釣る。今年は胃ガンの手術もあり、溪流の釣行が少なかった。

9 月 13 日 (火)、釣り部納涼会を京橋「新世界」で開催。10 名参加。趣味の飲み会が一番楽しい。西尾氏 70 kg のローニン鯰、中村氏の特大オヒョウ、金子氏の 7 kg の真鯛が今年の大物記録。25 日 (日)、剣崎沖、鯛、ワラサ釣り。狙い外れて大鯰 35 cm 強 1 人 10 匹。30 日 (金)、霞ヶ浦ホソの小鮎釣りに 4 名参加、12 ~ 20 匹。

10 月 16 日 (日)、剣崎沖へワラサ、真鯛狙いで 8 名参加。ワラサ 3 匹 75 cm 級、真鯛 1 匹のみ。21 日 (金)、海洋写真家の中村氏単独釣行、久里浜沖でワラサ 4 匹釣る。24 日 (月)、清水、柴田はワラサ 1 匹、平ソーダ鯉 4 匹。

今後の予定 (10 月 26 日現在): 11 月 23 日 (水・勤労感謝の日) ワラサ、12 月 18 日 (日) 金沢八景イシモチ、29 年 1 月 22 日 (日)、2 月 19 日 (日) ヤリイカ、3 月 26 日 (日) 真鯛、鯰。なお、1 月 16 日 (月) には釣り部新年会。

(柴田 昇 / 記)



写真

前号から写真部会員の写真を掲載しています。

(1) まずは人気が高まるマチュピチュ

マチュピチュの居住区を俯瞰したもの。背景の山はワイナピチュ (ケチュア語で若い峰の意) で、この山の上にもアンデネス (段々畑) や住居跡がある。頂上からの眺めは天下一品である。

(2) 富士は日本一の山

マチュピチュが世界一なら日本一はやはり富士山であろう。麓は秋、山は冬というのが味噌。大沢崩れも雪に覆われ静まり返っている。

(浮田 靖彦 / 撮影・記)



芸術芸能鑑賞

鑑賞部会として 6 月 17 日 (金) に国立劇場での「歌舞伎教室」を 12 人で鑑賞した。中村橋之助の人気は凄く連日の満員の盛況であった。また久しぶりに 9 月 16 日 (金) に「文楽」を 7 人で楽しんだ。文楽鑑賞が初めての方もいらして、有意義な時を過ごせた。9 月 29 日 (木)、11 月 24 日 (木) の「三越落語会」は 13 人、10 人と相変わらずの人気を持続し座席確保に苦労している。会員の花田さん関係の音楽会も数多く案内した。

9 月 10 日 (土) には「鑑賞部会総会」を行い 16 名の会員の皆さんにお集まり頂いた。席上大先輩の前原さんに乾杯の音頭を頂き、会計報告・事業報告を行った。残念ながら 2 年間会費の未納と不参加の方には退会とさせていただきます。厳冬の 1 月は案内を控えたい。

(鈴木 宏治 / 記)

カラオケ

■<月例会>毎月第一土曜日 13:00～17:00 ビッグエコー下北沢南口駅前店。参加費 2000 円。3～5 室入れ替え 10 数曲を歌う健康カラオケサロンの雰囲気。

■第 111 回 6/4(14 名)、第 112 回 7/2 (16 名)、第 113 回 8/7(18 名) 暑気払いマダムチョウの店 (写真)、第 114 回 9/3(15 名)、第 115 回 10/1(13 名)

■暑気払い<リクエスト曲抜粋>♪イヨマンテの夜 (伊藤久男) ベサメムーチョ (高橋真梨子) 風鈴 (山本譲二) ふたり川 (石原詢子) 俺の昭和が遠くなる (新沼謙治) 憧れのハワイ航路 (岡晴夫) 祝い船 (門脇陸男) 二人でお酒を (梓みちよ) The Sound of Silence (Simon & Garfunkle) センチメンタルカーニバル (あおい輝彦) リラの花咲く頃 (岡本敦郎) J ジェイ (門倉有希) 待ちましょう (津村謙) Can't Help Falling in love (Elvis Presley) ノラ (門倉有希) 琵琶湖周航の歌 夕陽燦燦 (五木ひろし) 無言坂 (香西かおり)♪ (倉田 豊 / 記)



〔訃報〕前会長の清水明雄さんが 10 月 30 日 (日) に 82 歳で逝去されました。今上天皇と生年月日が一緒で、12 月 23 日の 83 歳の誕生日目前でした。カラオケ部会の創設からご尽力され、代表世話人として今日の盛況を生み出した功労者です。ダンディな紳士で、新曲に挑む姿が目につかびます。心からお悔やみ申し上げます…合掌。

スポーツ観戦

平成 28 年 10 月 30 日 (日)、明治の優勝が決まったとはいえ絶対負けられない早慶戦。しかし、先月のドラフトで広島から 1 位指名された慶応加藤拓也投手に散発 3 安打、12 奪三振を喫し完敗。来シーズンに向けて課題を残す結果となりました。観衆 20,000 人。

試合後、いつものように外苑前の「増田屋」で懇親会。野球にとどまらずラグビー、その他のスポーツ談義で盛り上がりました。観戦部会の参加者は 8 名、少し寂しい会でした。(小林 昭一郎 / 記)



囲碁

平成 28 年 10 月 29 日 (土)、囲碁部は、今年最後の定例一泊碁会を「ふじみ荘」にて行いました。今回は参加者が 8 名とやや少なめでしたが、気心の知れた者同士のたいへん楽しい会となりました。優勝は池松八段、準優勝は斎藤五段、三位は丸山四段でした。

参加者:池松八段、田中八段、武藤七段、斎藤五段、星野四段、丸山四段、佐藤四段、萩原二段

次回は平成 29 年 1 月 28 日 (土) を予定しています。来年度は久しぶりに他区との盛大な共同開催の実施も計画しています。

(池松 正之 / 記)



麻雀

麻雀部会月例大会の結果は次の通りです。

会場はいずれも用賀「鈴家」です。

- 6 月 12 日 (日) 優勝: 桃井 清治 準優勝: 田村 逸朗 3 位: 武田 一成 参加者 28 名
- 7 月 9 日 (土) 優勝: 郡山 弘文 準優勝: 清水 胤弐 3 位: 脇坂 元彦 参加者 24 名
- 8 月 14 日 (日) 優勝: 佐藤 喬 準優勝: 江口 工 3 位: 田島 功統 参加者 28 名
- 9 月 11 日 (日) 優勝: 橋本 大道 準優勝: 有利純太郎 3 位: 河村 暉子 参加者 25 名
- 10 月 15 日 (土) 優勝: 橋本 大道 準優勝: 小池 早苗 3 位: 國澤 俊一 参加者 24 名

健康麻雀が流行っております昨今ですが、会費の一部を成績優秀者に分配する麻雀大会はやはりそれなりに緊張感のあるものです。

月に一回の麻雀大会は毎回真剣勝負が繰り広げられております。

(飯田 保則 / 記)

会員の広場

東洋哲学と鍼灸から

学んだもの

岡本 早苗 (昭49文)



鍼灸師・柔道整復師となつてから30年以上が過ぎました。私が資格を取った頃は、女性の鍼灸師も柔道整復師も珍しい時代でした。専門学校の数も今の半数以下で、女性への門戸はとても狭かったのです。寄付金を払って入る人が殆どでした。幸いにも私は、その様なことに無縁でしたが、それは、他の受験生より多少入学試験問題が出来たためだけでなく、出身高校や出身大学の社会的な価値のお蔭が大きかったと思いますし、その点で、今でも早稲田大学に感謝しています。

でも私は最初から、鍼灸師を目指していた訳ではありません。小学生の頃は将来、天

文学か医学を学びたいと思つていました。高校生になって、自分が物理に向いていない事に気付く医学部に志望変更しました。医者になる為に勉強していたのですが、高校二年生の時にパニック症を起こしてしまいました。患者さんを診るどころではなく、これは本当に辛いことでした。そこで何とか自分自身を立て直すために早稲田大学東洋哲学科に入ったのです。四年生になって大分症状も落ち着き、やはり医者になりたいと思う様になりました。その時に鍼灸を思いついたのです。親類にも知人にも鍼灸師は居なかつたのですが、鍼灸は東洋医学でありそのバックボーンは東洋哲学です。これしかないと思

い込みました。鍼灸専門学校に入学したのは、32歳の時です。鍼灸学校での勉強は楽しく面白くて、本当に私自身に合っているのだと思いました。鍼灸専門学校は内科的疾患には強いのですが整形外科的疾患には弱いので、柔道整復専門学校にも進みました。卒業後、様々な修業を積み、平成6年に自由が丘に鍼灸接骨院を開院しました。女性だけのスタッフ、

全て使い捨ての鍼を使用する、ピンクと白の内装、花柄のカーテンなど、その当時はまだ珍しい治療院だったと思います。開院当初は、受付で私の説明を色々聞いて納得なさった患者さんが、私が院長と分かつた途端に帰ってしまわれた事が何回かありました。まだまだ40歳そこそこで子供っぽく頼りなく映つたのでしよう。でも、誠心誠意治療を頑張つて、患者さんが患者さんと呼んで下さって、そのうちに自由が丘で患者さんに一番支持されている鍼灸接骨院と言われるようになりました。良い患者さんとスタッフに恵まれ、仕事が楽しく面白くて朝から夜遅くまで働き続けました。

しかし、良いことは、永くは続かないものです。平成13年の春、私は数か月のうちに体重が7キロ以上減っている事に気付きました。脾臓が10倍の大きさになっていて、悪性リンパ腫で余命半年と診断されたのです。余命は半年、3か月ではない。樂觀的な私は、半年なら何とかなると考えました。手術や抗癌剤など様々な治療に臨みました。厳しい闘病でしたが、幸運にも克服する事が出来ました。順

調に回復して、その年の暮れには自宅に治療院を移して開院する事が出来ました。主治医からは今でも奇跡だと言われています。家族や友人たちの温かく献身的な支えに心から感謝しています。鍼灸は一本の鍼、一つかみのモグサによつて、あらゆる病に対応することの出来る治療法です。鍼灸のバイブルとも言われる「黄帝内経（こうていだいけい）」は紀元前2世紀頃に編纂されたと言われていますが、そこには、既に人間の寿命は125歳と書かれています。今の科学で出された数字と同じですね。人間の感情（心）と身体との関係、季節や食物などと身体との関係性なども詳しく書かれています。鍼灸は人間を部分部分で診るのではなく、全体像として捉えて診ま

早稲田と私



有利 純太郎 (昭22商)

入学早々の春に早慶戦の洗礼を受け、早稲田の学生として自覚ができました。春の行事も終り、講義に身が入り楽しい毎日でした。昭和16年4月入学から9か月、12月8日に日英米が開戦となり、ハワイ、マレー沖海戦の大勝利が報道されました。全国民が勝つた勝つたで大騒ぎ、最後には提灯行列まで出る始末でした。しかし6か月後の昭和17年4月8日、初めて東京が空襲を受けたのです。午前中の講義は休講だったのでお濠でボート遊びの最中でした。真っ黒く巨大な飛行機が低空を飛び、高射砲ははるか上空で破裂し、早稲田方面には黒煙が上がりました。まるで映画を見るようで現実とは思われませんでした。気づいて学校に引き返しましたが、校舎は無事でした。学校側より土日の学校整備を命じられました。昭和18年にはガダルカナル

島の撤退から次々と占領地の放棄が始まり、国内では召集だらけで労働力が不足し、学生・生徒の勤労働員が本格化して、学校へ工場へと忙しい毎日でした。早慶戦は中止、文系の学生の徴兵猶予は廃止となり、10月には明治神宮で学徒出陣式が行われ、直ちに入営となりました。その直前に壮行会の名目で戸塚球場にて早慶戦が行われました。我々は10月には商学部1年生でしたが、学校の強い要望で動員が中止となり授業に専念することとなりました。

昭20年3月10日夜の空襲により東京の下町は全滅となり、焼死体や水死体のごろごろ、数十万人の犠牲を出しました。身内や出陣家族の消息を焦土化した下町で探しましたが行方不明でした。翌月には私に召集令状が来て、北支派遣山西省の太原に配属になり、3か月で幹部候補生となりました。暇ができると思えば出の連隊副官から「早稲田」と呼ばれ早慶戦を行いました。8月に入って、広島にピカドンという新型爆弾が投下されたそうだと噂が立ちました。ソ連の満州侵入により列車で移動しましたが大同駅で動



かず、その後情報が入り、既に8月15日には終戦となっていたため、太原に引き返しました。国府軍に降伏したところ、当分は帰国せず共産軍と戦闘するようにと外人部隊となりました。

昭21年5月に帰還命令を受けて内地に上陸したところ、我が家は全焼、父母は知り合いの離れに間借り、家具は全滅でした。早速学校へ行き学友と再会を祝い、教授に挨拶をしたところ、すぐに追試を受けるようにいわれ大忙しでした。学問とバイトでどうか9月の卒業になりました。

ホームカミングデーで50年生として呼ばれ、大隈会館で総長より歓迎の挨拶を受けた中で、今回の卒業生は早稲田始まって以来の勉強をしない卒業生と言われてショックでした。しかし、商学部22年9月卒の同窓には総理大臣をした竹下登君がいたことは我々の誇りです。

記者の目

EYE OF REPORTERS

今号は、編集の最後の作業である、校正について書かせていただきます。

皆様からお届けいただいた原稿や、その他のお知らせは、レイアウトも決まり、写真も組み込み、おおむね完成形として、印刷会社から、パソコンを介して編集委員に届けられます。各自、それをプリンアウトして目を通し、編集会議で校正上気づいた点を指摘して、まとめあげます。いわゆる校正の誤字、脱字、変換ミスなどの修正は無論のことですが、多く問題となるのは、「まちがってはいないが、どこかへん」というところなのです。ヘンの理由を言葉に表すのはむずかしいけれど、どこか直してもう少しスッキリいいかないかと頭を悩ませ、全員が「これいいね」となったときは、それこそ小さな喜びを感じます。

と、申しますのも、私が仕事をしている現場では、記者も校正者も若い方が多く、その言わく言い難い微妙なところで、感覚がそろわないことがあります。若い人同士でも合いません。なぜか？ つら

つら観察するに、それぞれ、ネットやスマホにかじりつき、おたがいの生の会話が少なく、言葉を発さなくても、用は足りる状態の中で、人の気持ちをおもんばかり、みな気分良くなれるような、適当な会話をすることができない人が多いようなのです。彼らが原稿を書くと、データは正しい、情報も正しいのに、なぜか、情報のこもらない、マニュアル化された言葉をつないだ、通り一遍的なものにしあがつてしまうのです。

このような世界にありますと、会報の編集会議で、編集委員の感覚がそろうとき、大げさですが、同じ時代と同じ環境で学んだ者の仲間意識を感じるのです。そして、これはかなり大切なことで、会報の性格をも決めるものとさえ、思っています。

編集会議で編集長がまとめられたゲラは、さらに印刷会社に送られ、修正したものが画面で送られ、再度チェックすれば、校了となり、皆様のお手元に届くわけです。発送作業も大変な労力です。

他の編集委員の方々のご苦勞に感謝いたしております。

(稲子)

幹事会の開催時刻及び場所を変更

幹事長 島田 實、事務局長 林 馨

世田谷稲門会幹事会は、毎月、第2月曜日(8,12月を除く)に開催されていますが、平成28年9月より開催時刻と場所が下記の通り変更となりました。

変更後： 午後6時～8時半、アイビーホール・レストラン「フィリア」(青山)
会食+会議(会食は各幹事の個人負担で実施しています)
(変更前：午後5時～8時、NHK青山荘)

変更理由： ① NHK青山荘が取り壊しとなる予定。
② 現役で仕事をされている幹事の皆さんが参加しやすい時間とする。

世田谷稲門会 会員異動状況 平成28年10月30日現在

〔新入正会員〕 個人情報につき不掲載

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	ブロック
小原 祐樹	平 17	政経				玉川
的場 崇樹	平 16	法				さくら
植松 勉	昭 62	法				さくら
村本 卓也	平 13	文				キャロット
石綿 宏	昭 53	理工				きぬた
清水 正巳	昭 40	政経				玉川
岡本 勲	平 17	社会				青年
荻須 吉洋	昭 40	理工				千歳
田畑 由佳	平 25	スポ				きぬた

〔新入準会員〕

正会員名	準会員名	郵便番号	住所	電話	ブロック
河北 英夫	河北 友子				西北

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	ブロック	備考
渡邊 義治	昭 33	理工	さくら	
尾崎 克太郎	昭 43	政経	千歳	
湯本 治男	昭 33	政経	きぬた	
森 悦郎	昭 34	政経		
綱島 真	昭 37	理工	キャロット	
蔭山 康夫	昭 30	政経	キャロット	
吉岡 精一	平 9	理工	きぬた	
角田 智生	昭 38	商	西北	
朴 容震	昭 44	理工	西北	
沼田 宣子	昭 36	教育	けやき	
石上 尚希	昭 39	理工	けやき	
北原 亘理	昭 44	理工	千歳	
千葉 彰	昭 47	法	キャロット	
中馬 勇	昭 36	法	千歳	
西川 芳子	昭 44	教育	さくら	
木村 滋	昭 27	法	西北	
板倉 美佳	平 17	社会	きぬた	
岩佐 保	昭 21	政経	千歳	
盛田 伯	昭 38	文	西北	
清水 明雄	昭 31	政経	けやき	

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	ブロック
飯田 保則	昭 60	文				けやき
岩嶋 東也	昭 41	政経				さくら

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	その他
横山 徹	昭 56	社会				

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。

また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話&ファックス 03-3305-4650 e-mail;shinoshoko@gmail.com

編集後記

ここに一冊の本がある。友人のO君が大学国際交流の原稿の参考にと送ってくれた本である。彼の母方の叔父さんから贈られた本だという。

そのタイトルは「大学国際交流事始(パイオニア達から次世代へのメッセージ)」で、ケース入りの合冊本である。因みに、第一巻は「山代昌希氏定年退職記念集刊行委員会編」、第二巻は「西原春夫、奥島孝康、村上義紀編著」である。実は山代昌希氏は友人O君の叔父上で、元早大の副総長。そして編著者の西原春夫氏と奥島孝康氏は元早大総長。同村上義紀氏は元副総長である。さらに、寄稿者には、同元総長村井資長氏、同小山宙丸氏、同白井克彦氏など歴代の早大総長、副総長をはじめ山代氏と親交のあった他大学等の百氏近い人士の方々が名を連ねている。

蓋しこの書は早稲田の山代氏をはじめ、戦後の大学間の国際交流の重要性に逸早く着目した先覚者達が、国際教育交流協議会(JAFSA)を核に、大学の国際交流と外国人留学生の受入れや邦人学生の海外留学支援等、大学国際化に尽力してきた足跡を辿れる貴重な資料だ。さらに、今後大学の国際化を進めるうえで恰好の「手引書」でもあると感じた。是非一読を！

(大内 秀行/記)